

**GASBEE-建築(新築)2016年版**  
財団法人建築環境総合研究所 建築環境総合研究所 建築環境総合研究所 (定款) (非営利) (法人)

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>1.4</b>
<b>1 音環境</b>				<b>1.8</b>	<b>0.15</b>			<b>1.8</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
1.2 遮音				<b>1.0</b>	<b>0.40</b>			
1 開口部遮音性能				<b>1.0</b>	<b>0.60</b>			
2 界壁遮音性能				<b>1.0</b>	<b>0.40</b>			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音				<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.0</b>	<b>0.35</b>			<b>1.0</b>
2.1 室温制御				<b>1.0</b>	<b>0.50</b>			
1 室温				<b>1.0</b>	<b>0.38</b>			
2 外皮性能				<b>1.0</b>	<b>0.25</b>			
3 ゾーン別制御性				<b>1.0</b>	<b>0.38</b>			
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	<b>0.30</b>			
<b>3 光・視環境</b>				<b>1.2</b>	<b>0.25</b>			<b>1.2</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	<b>0.30</b>			
1 昼光率				<b>1.0</b>	<b>0.60</b>			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
3.2 グレア対策				<b>1.0</b>	<b>0.30</b>			
1 昼光制御				<b>1.0</b>	<b>1.00</b>			
3.3 照度				<b>1.0</b>	<b>0.15</b>			
3.4 照明制御				<b>1.0</b>	<b>0.25</b>			
<b>4 空気環境</b>				<b>2.0</b>	<b>0.25</b>			<b>2.0</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 化学汚染物質				<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			
4.2 換気				<b>1.0</b>	<b>0.30</b>			
1 換気量				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>			
2 自然換気性能				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>			
3 取り入れ外気への配慮				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>			
4.3 運用管理				<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
1 CO <sub>2</sub> の監視				<b>1.0</b>	<b>0.50</b>			
2 喫煙の制御				<b>1.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>Q2 サービス性能</b>					<b>0.30</b>			<b>2.4</b>
<b>1 機能性</b>				<b>1.9</b>	<b>0.40</b>			<b>1.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>1.6</b>	<b>0.40</b>			
1 広さ・収納性				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>			
2 高度情報通信設備対応				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>			
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	<b>0.33</b>			
1.2 心理性・快適性				<b>1.3</b>	<b>0.30</b>			
1 広さ感・景観				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>			
2 リフレッシュスペース				<b>2.0</b>	<b>0.33</b>			
3 内装計画				<b>1.0</b>	<b>0.33</b>			
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.6</b>	<b>0.30</b>			<b>2.6</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	<b>0.80</b>			
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	-			
2.4 信頼性				<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
1 空調・換気設備				<b>1.0</b>	<b>0.25</b>			
2 給排水・衛生設備				<b>1.0</b>	<b>0.25</b>			
3 電気設備				<b>1.0</b>	<b>0.25</b>			
4 機械・配管支持方法				-	-			
5 通信・情報設備				<b>1.0</b>	<b>0.25</b>			

3 対応性・更新性		2.8	0.30		-	2.8
3.1 空間のゆとり		3.0	0.30		-	
1 階高のゆとり		-	-		-	
2 空間の形状・自由さ		3.0	1.00		-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性		2.5	0.40		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.22		-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.22		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性		-	-		-	
5 設備機器の更新性		1.0	0.22		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.40		-	2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性						3.6
LR1 エネルギー		-	0.40		-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			-		-	-
2 自然エネルギー利用		3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.39	5.0	0.63		5.0
4 効率的運用		2.5	0.25		-	2.5
集合住宅以外の評価		2.5	1.00		-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		2.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-		-	
4.1 モニタリング			-		-	
4.2 運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30		-	2.9
1 水資源保護		2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水		1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60		-	3.0
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		F☆☆☆☆の採用	4.0	0.30		
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00		-	
3 冷媒		-	-		-	
LR3 敷地外環境		-	0.30		-	3.3
1 地球温暖化への配慮		照明設備においてLEDを採用しCO2の削減。	4.1	0.33		4.1
2 地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		2.8	0.33		-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1 騒音		3.0	0.33		-	
2 振動		3.0	0.33		-	
3 悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-		-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		2.3	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に溢れる光への対策		2.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	